

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 外務省秘密漏洩/蓮見事件

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43682

昭和46年6月9日在仙大使飛外務大臣あて来電第877号

極秘指是電信文の差押、提出命令に対し承諾を拒む理由(案)

北米一課長

取扱注意

刑新法 103号、104号参照
12月5日 内閣より内閣府へ

昭和46年6月9日在仏大使宛外務大臣
あて来電第877号極秘指定電信文の差
押、提出命令に対し承諾を拒む理由(案)

昭和47年11月30日

外交交渉の具体的経過をすべてそのまま公表
することは、相手国の立場に損害を与え、また
は相手国のわが国に対する信頼を傷つけること
にもなるほか、将来の交渉を不利に導びくこと
が少なくなく、またわが国に対する国際的な信
用に重大な影響を及ぼすものである^{こととす}ので、これ
をそのまま公表すべきでないことは当然である。

本件電信文は沖繩返還交渉における話合いの
具体的経過に関する報告を内容とするものであ
り、これをそのまま公表する場合には、わが国
に対する国際的な信用に重大な悪影響を及ぼすと
考えられる部分が含まれているので、その公表
は国の重大な利益を害すると認められる。

アメリカ局長 御了取

北米一課長

北米二課長

取扱注意

安倍、吉野両大使の一時帰朝について
(外部ブリーフ振り)

47.11.21

経国二

経統

外務省は、拡大ECの発足、ニクソン大統領
の再選という新たな情勢の進展に力を入れ、明年
秋に開始されるガット・国際ラウンド交渉、国際通貨
問題の話し合いにのぞくわが国の政策立案に資する
ため 駐ベルギー安倍大使、駐OECD吉野大使(等)
に12月上旬一時帰国を命じ、上記国際問題、
力かんずく ECを中心とする日欧経済関係のあり
方について打合せを行なうこととした。なお、駐ソ

ネーグ北原大使に近く帰朝命令、事務打合せ

を行なう予定である。

注1. (負向あり場合)

駐米牛場大使について、一時帰朝を求め

可能性はあり得るが未定である。

注2. (負向あり場合)

吉野大使は、かねて裁判所から西山記者、蓮見

元事務官に係る公判の証人として出廷を求めら

れているので、出席するのではあるかと思う。

(本件、事務次官、官房長、人事課長、
経済局長、西環長、北木一長
) 決着)

取扱注意

糖斗877号極秘指定費
の差押.提出命令に承諾を
拒む理由(率)5中

47.11.30付

外務省

東京都千代田区霞が関二丁目2番1号

電話 東京(580)3311番

郵便番号100